

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2004年度	開講年次	4年次
開講学期	7, 8学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	8
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	各教官		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p>【主題および達成目標】</p> <p>主題：未解決の問題を解く、種々の知識を整理・体系化する、新しいシステムやプログラムライブラリの設計・作成および実装を行なうなど、「研究」と呼べるような仕事の第一歩を体験することを主題とする。これを通じて科学的思考能力・問題解決能力・継続学習能力を養い、併せて科学者・技術者としての倫理を自覚するための学習を行なう。また、研究過程での指導教官や他の学生とのコミュニケーションおよび研究成果の発表を通じて、論理的なコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>達成目標：卒業研究にふさわしい内容の成果を提出し、これに関する適切なプレゼンテーションを行なうこと。卒業研究全体を通じて、主題に掲げた科学的思考能力・問題解決能力・継続学習能力・論理的コミュニケーション能力を身に付けること。また、科学技術に関連した自己の行動原理について内省するきっかけを掴むこと。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>研究室ごとに異なる。研究室公開・ガイダンスなどの機会を利用して前もって調べておくこと。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>研究室ごとに異なる。研究室公開・ガイダンスなどの機会を利用して前もって調べておくこと。</p>
--

電気通信大学 平成16年度シラバス

【教科書等】

指導教官の指定に従う。

科学者・技術者倫理に関しては次の参考書を挙げておく：

「はじめての工学倫理」齊藤・坂下編集、昭和堂、2001

「技術者倫理の世界」藤本温ほか編著、森北出版、2002

「技術者倫理」C.Whitbeck著、札野・飯野訳、みすず書房、2000

【授業内容とその進め方】

研究室ごとに異なるので、指導教官の指示に従うこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

卒業研究中間発表会および卒業研究発表会におけるプレゼンテーションの内容および提出された卒業論文によって評価する。評価基準については指導教官に依る。

【オフィスアワー：授業相談】

指導教官の方針に依る。

【学生へのメッセージ】

卒業研究は自分の力で成し遂げなければならない。教官は助言者であって当事者ではないことをよく心得て臨んで欲しい。しかし、研究の過程では何度か壁にあたることもあるだろう。ひとりで乗り越えようとするよりも、教官や研究室の仲間と相談し協力し合って進んでいこう。

【その他】